

# 自律の気概あふれる まちをめざして

～ この町に誇りと愛着を持って  
皆さんの知恵を行動に ～

企画振興課 ☎526552 有線⑤8963

町では、住民の参画と協働による「自律のまちづくり」をすすめるため、「日野町自律のまちづくり住民懇話会」において、住民の視点での参画と協働のあり方や、まちづくりの方向性について議論を深め、提言をいただきました。

この提言を踏まえ、住民の皆さんの身近な関係と、一人ひとりの輝きを大切にしながら、「第4次日野町総合計画」のもと「日野町自律のまちづくり計画(案)」を策定し、概要版を全戸に配布しています。今後、シンポジウムの開催等により、住民の皆さんのご意見をいただき、計画を策定します。

## 自律のまちづくりに 取り組みの3つの基本

### ◇行政改革の推進

- ・住民の暮らしのサポートを基本に徹底した事務事業の見直しにより、行政改革を推進し、コンパクトなまちづくりを進めていきます。
- ・限られた財源の中で効果的に行政サービスを実施し、健全な町財政を実現していきます。
- ・全職員の参加により組織の意識改革を進めていきます。
- ◇住民との情報の共有
- ・情報公開と説明責任の徹底による

り情報の共有をはかり、住民の参画と協働につなげていきます。

### ◇住民の参画と協働

- ・住民の参画と協働により、「自分たちの地域のあり方、行政の担うべき役割とは何か」を考え、知恵を出し合い、自覚と責任をもって地方分権に対応していきます。
- ・町にある人的、物的資源の再確認と活用により、持続発展可能な新たな地域社会を創造していきます。
- ・住民一人ひとりが、生きがいを持って暮らせ、大切にされる町をめざします。

## 「日野町自律のまちづくり 住民懇話会に関わって」

滋賀大学経済学部

助教授 宗野隆俊



私は、「住民懇話会」に助言者として参加しました。今思うと、事柄の重大性を十分に認識せずに引き受けた仕事でした。会合が回を重ね、委員間の意見交換が活発化するにつれ、そのことを思い知った次第です。委員各位は、日野の発展を真剣に検討されました。合併を選ぶべきであったか否かについては、それぞれ異なる考え方があったと思います。しかし、自らの力で将来の展望を切り開こうとする姿勢は、全ての委員に共通のものでした。その真摯な姿勢に、心より敬意を表します。

振り返るに、懇話会で追及されたのは、将来を生きるために必要な日野の資源は何か、将来世代に負担を残さない持続可能な地域社会をいかに作るかということでした。こうした姿勢それ自身が、「自律」の追及でもあります。そして日野の資源として、人と人の関係が都市部に比べ、はるかに緊密であること、公民館活動が継続していること、様々な世代が地域社会にあること等々の特徴が明らかになったのです。何よりも、地域の将来に寄与しようと思う人たちがこれだけ集まり、そしてその背後に同じような志をもった人々が多く控えているであろうこと、これこそが日野の強みなのです。

ともすれば、まちづくりと言うと施設をつくるのが先行しがちです。しかし、自律のまちづくりは時代の変化を捉えた新しい価値観の創造をめざすもので、提言は明瞭な数値や断言調の言葉にはなりづらい面があります。しかし、日野の育ててきた地域の地力のあり方とその使い方を確認するためには、今回の提言づくりは必須の作業でした。国と地方の行財政改革が進められるなかで、いかに地域社会を維持するかを考えるためには、まずは、自らの潜在力に目を向ける必要があります。日野には豊かな資源があることが、文字通り確認されました。今回の提言づくりは、やがて日野が取り組む持続可能な地域社会づくりのための、重要な一環だったのです。

## 自律のまちづくり 住民シンポジウム開催!

＝住民参画と協働のまちづくりをめざして＝  
皆さんの顔が見える身近な関係を築き、住民一人ひとりの輝きを大切に「自律のまち」をめざし、シンポジウムを開催します。  
皆様のご参加をお待ちしています。

◆11月8日(火) 午後7:30～9:30

◆日野公民館 ホール

◆日野町自律のまちづくりの取り組み報告  
パネルディスカッション